

北海道看護協会十勝支部ニュース

発行者 (社)北海道看護協会十勝支部
編集責任者 浜名 真由美

Nursing あい

No. 106

2021年7月発行



北海道看護協会 シンボルマーク

日頃より会員の皆様には、支部活動へのご理解とご協力を頂き厚くお礼申し上げます。

令和3年2月の支部大会において、支部長の任を仰せつかりました浜名でございます。所属します帯広協会病院でも今年度より看護部長に就任し、合わせて毎日奮闘の日々を過ごしております。

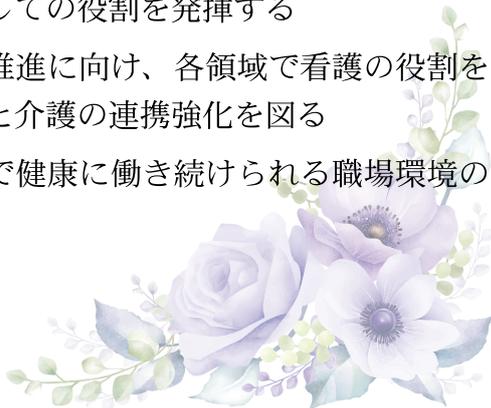
昨年度は新型コロナウイルス感染症により、北海道看護協会や十勝支部の研修・懇談会の多くは企画の中止、延期を強いられました。そのような中でも十勝支部ではWEBを使い看護研究発表など、実施できた研修会もありました。多くの支部が研究発表などを中止する中開催できたことは、委員・会員の皆さまのご協力の賜物と深く感謝いたします。

しかし、コロナ禍において看護職の置かれている現場は厳しい状況が続いています。自治体保健師の皆様をはじめ感染予防と、患者さん・利用者さんへの対応、更にコロナワクチン接種準備等で緊張の日々が続き大変ご苦労されていると思います。十勝の医療機関・施設、行政の看護職が一致団結して協力し、終焉の見えない状況に対応していかなければなりません。北海道看護協会でも看護師の派遣調整や潜在看護師への就業支援を行っていますが、今後も会員の皆様のご協力をお願いいたします。このような状況の中、令和3年度北海道看護協会は、「新しい生活スタイル」で事業を進めていきます。十勝支部は支部目標の達成に向け、委員会活動や事業の在り方を模索しながら、来たる2025年、2040年に向けその役割を發揮できる看護職能組織を目指します。看護職が笑顔でその職務を遂行できるよう支援していきたいと考えています。会員の皆様には何卒健康に留意し、今後の支部活動に支援、ご協力をお願い申し上げます。



令和3年度 北海道看護協会 十勝支部目標

1. キャリア開発の支援と看護職の質の向上に務め、専門職業人としての役割を發揮する
2. 地域包括ケア推進に向け、各領域で看護の役割を認識し、医療と介護の連携強化を図る
3. 看護職が安全で健康に働き続けられる職場環境の整備



今年度より十勝支部事務局が
下記に変更になっております

北海道看護協会
十勝支部事務局
帯広協会病院

—所在地—
社会福祉法人
北海道社会事業協会 帯広病院
〒080-0805
帯広市東5条南9丁目2番地
TEL (0155) 22-6600
FAX (0155) 24-7076



昨年12月、当院でもクラスターが発生しました。直ちに病棟内のゾーニングが始まり、スタッフ全員がPPE着脱の指導を受け、ナースステーション出入口には写真による着脱手順の張り出し、鏡にて全身を確認するなど、今までとは違う光景に感染への不安、緊張が増していきました。

日々の看護ケアでは、PNS（パートナーシップ・ナーシング・システム）に切り替えて看護ケアを実施しました。PNSによって、部署外からの協力スタッフの不安軽減や慣れないPPE着脱手技の相互確認、不特定多数の人の交差による感染拡大を予防する効果にもなりました。また、感染対策を重視される中、患者様も同時に隔離された空間におかれ、一変した環境に不安も強かったと思います。そのような中で看護師として何ができるだろうか等の思いに直面する事が多くありました。制限が多い中できること、いつも以上に声を掛け、声を出すことにより姿が見えなくても看護師がいる事を伝えることで患者様に安心を与えるなどの工夫をおこないました。今振り返り言えることは「あのつらさはもういない」「もう2度とあってはならない」そのことを誰もが思い感染対策実践しています。

高齢者施設における集団接種を終えて

当施設は高齢者ワクチン先行施設として4月27日、5月18日に接種を行いました。当日の入浴や個別リハは前後に振り分け、入所受け入れは中止、夜勤増員など体制を整え、一日で100名（一部職員含）接種のスケジュールを立てました。

事前準備として協立病院で行っていた医療従事者ワクチン接種に加わり希釈を学び、全体の流れを把握した上で、緊急に備えた薬剤選定やシミュレーションを行いました。

認知症の方は他人を呼んでも返事をしませんが、接種希望していなくても皆が並べば一緒に並びます。入院患者のリストバンドなど身分を証明するものはありません。

当日は事務員や通所の職員など関わりの薄い職員もいるため、誤認誤薬防止のため接種予定者にはガムテープで背部に「名前・注意事項・体温・観察終了時間」を記入し、すべて終了後剥がす流れにしました（胸では知らぬ間に剥がされてしまいます）

こういった取り組みは高齢者施設ならではの工夫かもしれませんが、重ね着をしている方が多く、スムーズに進行するためには着脱専属係も重要任務の一つでした。

幸い重い副反応もみられず、無事終了できたことが何よりです。

今回、接種を希望されなかった利用者は僅か2名。ワクチンへの関心の高さや期待が感じられました。利用者は長期に渡り外出自粛、面会制限など自由を奪われています。ワクチンの効果により一日も早く穏やかな日常生活を取り戻せることを祈るばかりです。



誤認防止への工夫



急に身体が動かぬよう2名組で接種

2021年度新役員紹介

- 支 部 長 浜名真由美 (社会福祉法人北海道社会事業協会 帯広病院)
 第一副支部長 黒柳 弘美 (NPO法人かしわのもり)
 第二副支部長 澁谷真由美 (社会医療法人 博愛会開西病院)
 第一書記 田岡 桂子 (社会福祉法人北海道社会事業協会 帯広病院)
 第二書記 高田 利津 (社会医療法人北斗 十勝リハビリテーションセンター)
 会 計 菅 清枝 (公益財団法人北海道医療団 帯広第一病院)
 会 計 三浦 直也 (独立行政法人 国立病院機構 帯広病院)



保健師職能委員

- 鈴木 逸斗 (幕別町役場)
 ○本多 朝美 (本別町地域包括支援センター)
 馬瀬戸 栞 (清水町保健福祉センター健康推進課)
 横内美由紀 (土幌町総合福祉センター健康福祉課)
 牧野美香子 (豊頃町保健センター)

助産師職能委員

- 前田 麻結 (社会福祉法人北海道社会事業協会 帯広病院)
 遠藤 美香 (JA北海道厚生連 帯広厚生病院)
 伊藤ゆかり (医療法人社団慶愛 慶愛病院)

看護師職能委員

- 寺島 茂子 (公益財団法人北海道医療団 帯広西病院)
 ○吉持 裕子 (社会医療法人恵和会 帯広中央病院)
 山室 和子 (北海道立緑ヶ丘病院)
 佐藤 雅美 (帯広徳洲会病院)
 馬場 梨花 (医療法人社団刀圭会 訪問看護ステーション向日葵)
 林 恵子 (社会医療法人博愛会 介護老人保健施設あかしや)

働き続けられる職場づくり委員

- 野口 寿恵 (医療法人十勝勤労者医療協会十勝勤医協 帯広病院)
 前田 秀実 (独立行政法人 国立病院機構 帯広病院)
 ○丸山 明美 (社会福祉法人北海道社会事業協会 帯広病院)
 松本 陽子 (公立芽室病院)
 中村 朋子 (医療法人社団刀圭会 協立病院)

教育委員会

- 前垣なおみ (社会福祉法人北海道社会事業協会 帯広病院)
 ○渡邊 公子 (公益財団法人北海道医療団 帯広西病院)
 高田 美佐 (公益財団法人北海道医療団 帯広第一病院)
 佐藤まゆみ (北海道立緑ヶ丘病院)
 鈴木 知子 (公益社団法人地域医療復興協会 十勝いけだ医療センター)
 森藤 麻子 (医療法人社団博仁会 大江病院)
 嘉屋亜希子 (社会医療法人恵和会 帯広中央病院)

広報委員会

- 長内 美穂 (帯広徳洲会病院)
 ○谷口 洋子 (医療法人社団刀圭会 協立病院)
 栗田 良一 (社会医療法人北斗 北斗病院)
 鶴田美代恵 (医療法人社団刀圭会 介護老人保健施設アメリティ帯広)

推薦委員会

- 渡辺 景子 (医療法人十勝勤労者医療協会十勝勤医協 帯広病院)
 松井 里絵 (社会医療法人北斗 十勝リハビリテーションセンター)
 中屋 朋子 (公益財団法人北海道医療団 音更病院)

特別委員会

- 石澤 郁美 (社会医療法人北斗 十勝リハビリテーションセンター)
 ○永野 賢一 (医療法人社団博仁会 大江病院)
 田村奈緒美 (東十勝居宅介護支援事業所)
 村瀬 剛 (JA北海道厚生連 帯広厚生病院)
 成田 優子 (社会医療法人博愛会 開西病院)

○印は委員長

北海道看護協会十勝支部会員数

(2021年4月11日現在)

保 健 師 93名

看 護 師 1,694名

助 産 師 76名

准看護師 177名



会員総数
2,040名

編 集
後 記

日々の感染対策対応にご尽力されていることと思います。初夏になって太陽の日差しが気持ち良いですね。ストレスをためず、体調を崩さぬようお気をつけてお過ごし下さい。

(広報委員/谷口・長内・鶴田・栗田)